

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の特性や活動内容等を工夫し、スペースを有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の特性や相性等から活動場所を決め、適切に職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		一軒家のため段差はあるが、ケガや事故につながるようなものは排除し、環境整備に努め、安全に留意している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフミーティングを行い、活動プログラムやケースなどの計画・実施・評価・改善を全職員で行うように努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成 29 年度中に実施し、結果をもとに業務改善やサービスの質の向上につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成 29 年度中に自己評価の結果をホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが今後、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人研修、施設内研修を行っている。また、外部研修や学会にも積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時に保護者にアセスメントシートを提出してもらい、子どもと保護者のニーズや課題を計画に活かしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの状況を明確に把握するために、標準化されたアセスメントツールを基に事業所で作成したアセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案を全体で行っているか	○			次月の利用者が決定した時点で会議を開き、利用者や職員数をもとに活動プログラムを計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節感を感じることができるプログラムなどを取り入れ、固定化、マンネリ化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動の目的を明確に設定し、適切な支援を行うことができるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性や日々の様子から個別活動、小集団での活動等を組み合わせ合わせて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にミーティングを行い、支援の内容、留意点や役割分担等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後は職員間で支援の振り返りを行っている。全スタッフを交えて行うことはできていない為参加できないスタッフは、会議録を確認することを徹底している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録の書き方について研修を行い、適切に記録に残すようにしている。また、職員会議にて支援方法を検証し、日々の支援改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6 か月ごとにモニタリングを行い、サービス計画に活かしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドライン総則等をもとに、活動プログラムを計画、実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、担当職員だけでなく児童発達支援管理責任者も参加し、情報交換などを行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校からの行事予定表等をもとに、適時情報共有を行っている。 また、送迎時は学校での様子や体調面を引き継ぎ、学校と協力して不備がないよう適切に対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		胃瘻が必要な利用者など医療的ケアの必要な子どもには看護師が担当職員とともに保護者と情報共有しながら支援している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		これまで小学部入学時から利用する児童がいなかった。今後は、ケースによって情報共有、相互理解ができるように保育所等との連携に努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービス事業所にアセスメントシートや個別支援計画、支援の内容等を送り、情報提供に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関の研修等に参加すると共に、基幹相談支援センター職員や当法人職員等から助言を受け、支援に活かしている。
	26	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		法人行事や学校、地域行事に参加している。ボランティアや実習生を受け入れ、交流を持つ機会を提供している。また、法人行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。
	27	(地域自立支援)協議会等行政機関が集まる会議へ積極的に参加しているか	○		基幹相談支援センターなどの会議に参加し、情報交換を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		サービス提供記録や送迎時の引継ぎで、子どもの様子や状況等について保護者に伝えている。また、必要に応じて電話やメールなどで共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての具体的な支援方法について情報の提供及び助言等を行っているか	○		事業所での支援方法について積極的に伝えるように努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に運営規定や支援内容、利用者負担などについて丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者と連絡を取りながら、子どもの様子や支援のあり方等について共通理解を図っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		個別的な対応は行っているが、父母の会などを積極的には支援していない。但し要請があれば場所の提供などは行っている。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の前例はないが、苦情があった場合には適切に対応できる体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		2ヶ月に1度定期的に「やまとだより」を発行し、事業所での様子を写真等で伝えている。また、必要に応じて運営に関する内容をプリントにまとめ、保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		保護者に個人情報取り扱いの承諾書を記入していただくとともに、PCのデータ管理にも留意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		具体物や写真等を提示するなどして意思の疎通に努めている。保護者との連絡については、主にメールを使用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		自治会や近隣の方とは積極的にコミュニケーションを図っている。AED 設置を地域に向け公開している。また、法人的行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか、また必要に応じて保護者への説明を行っているか	○		各マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には利用開始前の契約時に、マニュアルに基づいて説明を行うと共に要望に応じて閲覧できるようするなど対応を工夫していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難場所の確認やマニュアルの作成などを行い、計画的に訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		行政機関等の研修を受け、施設で勉強会を開催し職員全体に周知している。また、虐待に関する職員アンケートを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束を行わなければならない利用者がいないので、保護者への説明やデイサービス計画への記載などは行っていない。今後必要に応じて保護者の了解を得るなど適切に対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づき十分な配慮を行っているか	○		アセスメントによって、アレルギーについて把握し、保護者と連携し、配慮している。
	43	やむを得ずケガや事故が起きた際はその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員間での情報共有を行っているか	○		事故等が起こった場合には、報告書やヒヤリハットを作成している。また、ビデオで事故の原因や状況も把握し、課題解決に努めている。